

宮城県保健環境センター年報

平成17年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.24 2006

宮城県保健環境センター

は じ め に

このたび、宮城県保健環境センターの平成17年度における業績をとりまとめ年報として発刊する運びとなりましたので、ご高覧の上、ご意見を賜れば幸いと存じます。

当センターは、県民の方々の保健衛生や環境保全の維持向上のため、試験検査、調査研究、関係情報の収集・解析・提供及び技術研修等を行っておりますが、平成17年度には、生かきのノロウイルス対策に関する調査研究、海藻を活用した水質浄化法の検討、村田町竹の内産業廃棄物処分場での各種調査解析、ポジティブリスト制導入に向けての残留農薬の一斉分析など、鋭意取り組んで来たところです。

平成17年度は、当センターにおいても、外部評価制度の導入による機関評価が行われ、外部の専門家や有識者により、調査研究の推進体制や人材育成・確保などセンターの運営体制全般にわたるご意見をいただき、その対応方針をまとめたところです。また、平成18年度には、引き続き研究課題評価を行うこととしております。

さて、県財政はますます厳しくなり、センター関連予算の削減、分析機器の老朽化など以前にも増して課題が多くなるなか、限られた人的・物的資源の下で、より県民ニーズや行政課題に密着した調査研究等の遂行とその成果を各方面に還元することが求められています。また、団塊の世代の大量退職の時代が間近に迫っており、定員削減が求められているなか、経験豊かな職員が退職した後の調査研究等の技術水準の維持をどのようにして保っていくかなど難問が山積しております。

このような状況のなか、県民の皆様方の理解が得られ、充分期待に応えられますよう、調査研究体制の充実、精度管理の充実、健康危機管理体制の強化など、保健環境分野の課題に対して積極的に取り組み、研鑽を積んでまいりたいと考えておりますので、今後とも、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。

平成18年11月

宮城県保健環境センター

所 長 高 橋 正 弘

目 次

A 事業概要

I 総 説

1 沿 革	1
2 機構及び業務分担	1
3 職 員	2
4 決 算	3
5 主要機械器具	4
6 技 術 研 修	7
7 講師等派遣	8
8 学術情報の収集	9

II 概 況

1 企画情報部	11
2 微生物部	14
3 生活化学部	18
4 環境化学部	21
5 大気環境部	23
6 水環境部	28
7 試験検査部	31
8 古川支所	33

B 調査研究

I 論 文

感染性胃腸炎における病原体の季節的動向	35
菊地 奈穂子 田村 広子 植木 洋 沖村 容子 谷津 壽郎 秋山 和夫	
ノロウイルスを用いたマガキへの取り込み試験の評価	39
庄司 美加 菊地 奈穂子 山木 紀彦 後藤 郁男 植木 洋 沖村 容子 秋山 和夫 須藤 篤史 酒井 敬一	
宮城県におけるインフルエンザ抗体保有状況	42
沖村 容子 菊地 奈穂子 庄司 美加 山木 紀彦 後藤 郁男 植木 洋 秋山 和夫	
鳴瀬川水系における腸管出血性大腸菌の動態について	46
畠山 敬 田村 広子 三品 道子 佐々木 美江 谷津 壽郎 秋山 和夫	

宮城県における腸管出血性大腸菌感染症の発生要因と予防対策の検証	50
田村 広子 佐々木 美江 畠山 敬 川野 みち 谷津 壽郎	
秋山 和夫	
掛け流し式温泉における微生物生息状況	55
佐々木 美江 田村 広子 畠山 敬 谷津 壽郎 秋山 和夫	
改良型一斉分析法の追加農薬への適用とGC/MS/MS分析による検出農薬の同定	58
氏家 愛子 柳田 則明	
食肉中の残留動物用医薬品のLC/MSによる一斉分析	63
遠藤 美砂子 山内 一成 氏家 愛子 柳田 則明	
アレルギー物質（小麦）を含む食品の検知法について	67
曾根 美千代 手代木 年彦 柳田 則明	
宮城県河川中のアルキルフェノール類と排出追跡調査の一事例	72
高橋 紀世子 吾妻 正道 斎藤 善則	
一般廃棄物最終処分場浸出水及び一般廃棄物焼却灰の塩類調査	79
柳 茂 菅原 隆一 斎藤 善則	
酸性雨自動測定に基づく事例解析	84
仁平 明 高橋 正人 中村 栄一 北村 洋子 加賀谷 秀樹	
宮城県における降水中の鉛安定同位体比について	88
北村 洋子 高橋 正人 佐久間 隆 小泉俊一 木戸 一博	
中村 栄一 加賀谷 秀樹	
宮城県におけるPM2.5自動測定結果について(2)	91
中村 栄一 菅原 隆一 高橋 正人 加賀谷 秀樹	
宮城県におけるPM2.5調査結果—粒径分布及び炭素成分について—	94
木戸 一博 佐久間 隆 小泉 俊一 北村 洋子 中村 栄一	
加賀谷 秀樹	
松島湾における藻場の生態系調査結果について	98
佐々木 久雄 小山 孝昭 牧 滋 嵯峨 京時 久保田 龍二	
宮城県東松島市（旧鳴瀬町）野蒜地区における砒素汚染地下水の解析事例	101
清野 茂 阿部 公恵 栗野 健 大庭 和彦 嵯峨 京時	
鉛川湧水調査（第2報）	105
清野 茂 小山孝昭 佐藤 健一 牧 滋 佐藤 勤 大庭 和彦	
嵯峨 京時	
伊豆沼・内沼の水生植物の栄養塩吸収試験	111
渡部 正弘 大金 仁一 小山 孝昭 佐々木 久雄 嵯峨 京時	
カンピロバクターに対する消毒薬の効果	114
小林 妙子 菅原 直子 渡邊 節 山田 わか 齋藤 紀行	
廣重 憲生	

鶏肉からの効率的なカンピロバクターの分離の検討と分離菌の性状	117
渡邊 節 菅原 直子 小林 妙子 山田 わか 齋藤 紀行	
廣重 憲生	
<i>Salmonella</i> Montevideo が検出された食中毒事例について	121
渡邊 節 菅原 直子 小林 妙子 山田 わか 齋藤 紀行	
谷津 壽郎 廣重 憲生	
食品からの黄色ブドウ球菌検査における発色酵素基質培地の評価	126
渡邊 節 菅原 直子 小林 妙子 山田わか 齋藤 紀行	
廣重 憲生	
環境水の潜在的な細菌増殖能の新規測定法	132
齋藤 紀行 菅原 直子 小林 妙子 渡邊 節 山田 わか	
カルボニル価（ブタノール法）による油脂食品の酸化劣化評価	136
佐藤 由紀 千葉 美子 葛岡 勝悦 遠藤 美砂子 清野 陽子	
佐々木 多栄子	

II 資 料

タンクモデルによる白石川河川流量の推定	139
小室 健一 浦山 清 仁平 明 鈴木 康民 小葉松英行	
感染症流行予測調査	141
微生物部	
感染症発生動向調査	149
微生物部	
食中毒検査実績－ウイルス検査および食中毒原因菌の特殊検査実施状況－	152
微生物部	
平成17年度に宮城県で発生した2類および3類感染症	154
微生物部	
トータルダイエットスタディ果実類（VI群）中の残留農薬調査結果	155
氏家 愛子 福原 郁子 佐藤 信俊	
畜産物中の動物用医薬品の残留量調査	157
山内 一成 赤間 仁 佐藤 信俊	
有害重金属一日摂取量調査	158
山内 一成 手代木 年彦 福原 郁子 柳田 則明	
平成17年度生活化学部検査結果	161
生活化学部	
全PCB分析法の検討	165
鈴木 滋 菱沼 早樹子 加藤 謙一 齋藤 善則	

大気中の揮発性有機化合物調査	167
佐久間 隆 小泉 俊一 北村 洋子 木戸 一博 加賀谷 秀樹	
鳴瀬川水系から検出された細菌類について	169
山田 わか 菅原 直子 小林 妙子 渡邊 節 齋藤紀行	
平成17年度食中毒検査結果	171
試験検査部	
平成17年度食中毒検査結果	172
古川支所	
Ⅲ 調査研究課題一覧	173
C 研究発表状況	
I 他誌論文抄録	175
II 学会発表等	181
III 研究発表会	185